



# しぶき 飛沫を浴びて



校長 重村 恭彦

## 「割れ窓理論」

### ■指導の甘さに気づきながら・・・

喜応寺ヶ丘の学舎に赴任して3か月が経過しました。杵崎での生活にも慣れ、充実した毎日を過ごすことができています。しかし、その一方で、雑巾が雑巾がけに乱雑に掛けられていたり、教職員が作成する文書に不備があったりすることに気づきながら、「これくらい良いか。」と見逃している自分が・・・。職場や生活に慣れるにつれ、どうやら校長としての指導に甘さが出てきているようです。

### ■「割れ窓理論」とは？

割れ窓理論とは、1982年に刑事司法学者ジェイムズ・ウィルソン及びジョージ・ケリングによって提唱された社会安全政策に関する理論で、教師として甘さのある私を長年支え、管理職となった今もなお、支えてくれている考え方です。

この理論のベースにあるのは、建物等の私有財産を単に個人主義的視点からではなく、地域社会全体に関わる存在、つまり共同体的視点から捉えるべきだという考え方です。社会の安全や生活の質といったものは、私有財産や個人の身体・生命といった個人的利益が集積したものだけでなく、地域社会という共同体全体に関わるものである、という認識に立つ理論と言えます。

例えば、ビルの窓を割れたままにしておくことは、そのビルの管理が不十分であることを示しています。管理が不十分であれば犯罪の温床になりやすく、その犯罪がビルから地域社会に拡大し、他のビルの窓も割られるようになり、ひいては地域社会全体の崩壊を招いてしまう、というものです。

この理論をスタンフォード大学のフィリップ・ジンバルト教授が実験によって確かめました。すなわち、通常の手車Aとフロントガラスの割れた手車Bの2台をそれぞれ住宅街に1週間放置したところ、通常の手車Aは被害にあわなかったものの、窓ガラスの割れた手車Bは、他のガラスも次々と割られた上、落書きをされ、バッテリーやタイヤなど金目になる部品をほとんど持ち去られてしまいました。

ニューヨークのジュリアーニ市長（1994～2001年在職）は、この理論を採用し、地下鉄などの落書きを消し、空き缶の投げ捨てや歩行者の信号無視等を取り締まったところ、数年後には凶悪犯罪が激減するという成果をあげました。この例を受けて、アメリカ各地、さらに日本でも札幌市のすすきの等で軽犯罪を取り締まり、効果を上げたことが知られています。（岩間 浩『空間の感覚』2002丘書房）

### ■たった一枚の割れ窓が崩壊させるのは・・・

廊下に落ちている小さなゴミや机の上の落書き、チャイムが鳴ってから廊下のロッカーに教材を取りに行く生徒、授業中に居眠りをしている生徒を起こさない教師、職員が作成した文書が不十分であることに気づいているのに見逃す管理職等々、たった一枚のその割れ窓が崩壊させるのは、杵崎高校という共同体そのものであり、杵崎高生の未来です。

杵崎高校は、生徒、教職員が「割れ窓理論」を理解し、日頃からお互いに指摘し合える人間関係の育成を目指します。そして、割れ窓があれば放置することなく、すぐに修復する学校でありたいと思います。まずは、校長である私自身が「これくらい良いか。」といった自らの甘さに負けないよう、改めて気持ちを引き締め直す所存です。

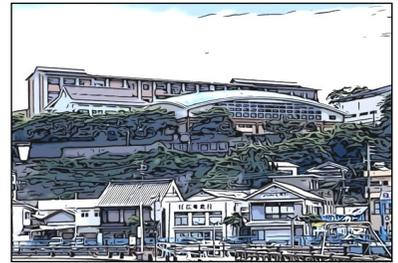
引き続き、杵崎高校、杵崎高生をよろしくお願いします。

#### 【公開授業のお知らせ】

- 期間 7月7日（月）～11日（金）
- 時間 午前8時45分～12時45分、午後13時10分～16時10分
- 備考 校内への駐車はできません。新道駐車場をご利用ください。



▲高総体入場行進



▲郷ノ浦の町から望む1号館と体育館

## ◆ 高総体報告会・NHK杯全国放送コンテスト (6月5日)(木)



(▲各部主将が結果を報告)

3年生にとっては、3年間の集大成としての高総体が幕を下ろし、各部主将が堂々と胸を張って結果報告をしてくれました。各主将からは、応援して下さった保護者の方々への感謝や、後輩たちへのエールが述べられました。

放送部の県大会出場者が、NHK杯全国放送コンテストへの意気込みを堂々と述べました。頑張れ、放送部!

(▼放送部部長が決意表明)



## ◆ 交通講話 (6月9日(月))



1年生全員を対象に交通講話を行いました。交通ルール遵守や歩きスマホ、歩行時のイヤホン使用の危険性についてのお話もあり、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

講話後は、迫力満点の白バイ走行実演を見学し、実際に白バイやパトカーにも乗せていただきました。警棒や手錠なども見せていただき、警察の仕事をよく理解することができました。

## ◆ 生徒会選挙立会演説会 (6月13日(木))

生徒会選挙立会演説会並びに投票が行われました。立会演説会では立候補者9名が、より良い学校を築いていくために力強く演説しました。3年生の投票では、主権者教育の一環として、投票機、投票箱を彦岐市選挙管理委員会からお借りし、実際の選挙と同様の形式で投票しました。



れいろうばし

## ◆ 今月の玲瓏星☆

今号より、その月に特に輝いた生徒を紹介する「今月の玲瓏星☆」のコーナーを開設します。このコーナーを開設した理由は、壱岐高生の良さを多くの人に知ってほしいからです。記念すべき第1玲瓏星は、以下のみなさんです!



### 『英検準1級に挑戦!』

みお  
☆3年2組 牧山 実央さん☆



特に英語の勉強に励み、実用英語技能検定の準1級を取得するために鋭意学習中です。CEFR B2レベルに値する難易度が高い資格を取得するために勉強に励む姿勢は、他の模範となり、輝いています!

### 『受験とピアノ、二兎を追う!』

やえ  
★3年3組 末永 椰恵さん★



受験勉強に取り組む傍ら、趣味であるピアノの練習も頑張っています。勉強がどんなに忙しい時でも、ピアノの練習をする姿は、キラキラ輝いているため、今月の玲瓏星☆に認定します。

### 『ポジティブな声掛けを意識』

ゆら  
☆2年3組 日高 夢星さん☆



サッカー部の新チームの主将を務める夢星さんは、1、2年生に対してポジティブな声掛けを意識し、部員が「勝ちたい」と思えるようなチームづくりに励んでいます。「応援されるチーム」にすべく、奮闘する主将の姿は、燦爛と輝く玲瓏星☆のようです。

### 『人前は苦手…。だからこそ主将に挑戦!』

★2年4組 中上 あかりさん★



バスケットボール部女子の主将を務めるあかりさんは、これまで進んで人前に入るような性格ではなかったのですが、今回自ら主将をしたいと名乗りをあげました。新しいことに果敢に挑戦する姿は輝いています。よって今月の玲瓏星☆に認定します。

## ◆ 行事予定(6/30現在)

7/20	日	参議院議員通常選挙投票日 壱岐市議会議員選挙投票日
21	月	【海の日】上海研修(~8/1)
22	火	フィールドワーク【東ア・中国語コース一部】 午前:授業 午後:三者面談
23	水	県立大学出前講義(看護志望者、午後)
24	木	壱岐病院訪問(3年希望者、午後)
25	金	
26	土	第6回公務員模試(3年)
27	日	
28	月	午前:授業 午後:三者面談 島外巡検【東ア・中国語コース一部】(~8/1) スタキャンI(3年、~8/1)
29	火	
30	水	
31	木	
8/1	金	
2	土	全統マーク模試(3年) 公務員セミナー(3年)
3	日	全統マーク模試(3年)
4	月	スタキャンII(3年、~8/7)
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	【代休8/9】
9	土	登校日(平和学習)
10	日	学校閉庁期間(~8/15)
11	月	【山の日】
12	火	勝本花火大会巡視(健全育成委員会)
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	

※玲瓏星:玉などが透き通るように美しいさま。また、玉のように輝くさま。校歌(4番)の歌詞にも「玲瓏星はまたたけり」とある。

 考古学入門で島内巡検 (5/22・28)



たかつじょう おびたじょう  
○ 高津城と帯田城(勝本町仲触)を訪れました。この城が果たした役割を2年生が考察し、また、縄張り図を作成された寺田所長(埋蔵文化財センター所長)からも解説をいただきました。



なまいけじょう  
○ 次に、生池城(勝本町にある城跡)を訪れました。この城は、松浦党の一族である本城氏の居城と推定されており、城跡には、二重の空堀や切岸(斜面を削った防御施設)や障子堀、横矢掛け、土橋などを確認しました。先週訪れた高津城や帯田城と比較して、それぞれの城跡の特徴を学びました。



 歴史学入門で島内巡検 (5/28)



○ 郷ノ浦町の猿岩、黒崎砲台(対馬海峡を通過する敵艦を攻撃する目的で設置)、海軍指令所、鬼の足跡(牧崎公園)や唐人神展望台という旧日本軍の観測所跡を訪れました。土台だけが残っているところに入って、当時の状況を想像しながら見学をし、生きる防御策に感動しました。



中国語スピーチコンテスト  
おめでとう!

初級の部で最優秀賞1名、優秀賞1名、優良賞1名、中級の部で優良賞2名の受賞を



最優秀賞 福島拳成さん 優秀賞 村井文汰さん

果たしました。日頃からの中国語に対する熱心さと表現力が評価され、上海研修に向け、自信がつけました。

 まちづくり協議会のボランティアに参加!! (6/7)

コース生が、ゴミ拾い健康ウォーキングで、爽やかな汗を流しました。



しゅう こっさよう  
 周 国強先生による遠隔授業 (6/12)

中国語専攻2年生を対象に今年1回目(全6回中)の遠隔授業を行っていただきました。中国語で自己紹介をした後、本コースが4月に実施した台湾旅行団との交流活動の成果発表を行い、今後よりよい活動となるようにご助言をいただきました。また、大変難しい中国語の発音を楽しく学習する方法も教えていただきました。